

八王子市と
市民の
協働事業

小田野中央公園まちづくりの会 まちづくり通信

令和2年7月20日
第23号

編集発行 / 小田野中央公園まちづくりの会 【URL】 odanopark-matizukuri.kids.coocan.jp
【発行責任者】 榛葉邦男 【事務局】 東京都八王子福祉園内 担当 清野栄一 八王子市西寺方町76 電話 042-651-4332

みなさん、お元気ですか！



令和2年は、2月から新型コロナウイルスCOVID19の影響で、みなさん大変ご苦労されていることと思います。まちづくりの会のメインイベントである「第13回さくらまつり」は残念ながら中止となりました。皮肉なもので、今年のカワツザクラは今までで一番の美しさで、開花期間も大変長かったです。

今年は、特にコロナ禍のストレスも大きかったので、満開のカワツザクラに元気づけられた方も多かったことでしょう。

花や、草木は例年通り、春の訪れとともに、公園を彩ってくれました。

まちづくりの会は、3月から活動を自粛し、緊急事態宣言が解除された5月末から活動を再開しています。

5月に予定した総会も中止となりましたが、書面決議により、審議議案はすべて承認されました。

毎年、6月に行っている、元木小学校3年生と恩方第一小学校2年生による種団子の植え付けも中止となりました。

これからは、新型コロナウイルス感染予防に留意しながらも、活動が続けられるよう、体制を整えていきたいと考えています。



小田野中央公園まちづくりの会「第13回総会議案」が承認されました

令和2年第13回小田野中央公園まちづくりの会定期総会は、新型コロナウイルス禍の中、開催することができなかつたため、書面決議によって、昨年度の事業報告及び決算報告・監査報告、今年度事業計画及び収支予算、まちづくりの会役員改選について承認されました。今年の活動内容は以下の通りです。

- ① 【地域活力づくり】小田野中央公園を中心とした地域内の交流や行事に関する企画、実施に取り組む。
 - コミュニティ活動として様々な年代の人が一同に集うイベントを企画・実施する。
 - ・「第12回秋のワークショップ」
 - ・「第14回さくらまつり」
 - 小田野中央公園内で活動する個人や諸団体との情報交換、行事等への協力・調整を行う。
- ② 【防犯・防災活動】小田野中央公園周辺の町会、自治会、小中学校との連携を図り、安心・安全なまちづくりを推進する。
 - 防犯活動として公園を巡回し、公園を利用する子どもたちへの声掛け、注意喚起等に取り組む。
 - 防災活動として、恩方地区防災協議会主催の地域総合防災訓練への参画に取り組む。
- ③ 【青少年育成活動】
保育園の園外保育、小学校の総合的な学習の時間を利用した花壇づくり、中学校生徒会を中心とした取り組み、地域ふれあいスポーツ大会協賛等を通じて地域社会との交流を推進する。
- ④ 【環境保全活動】
公園全体の清掃、除草、樹木の剪定、花壇の整備等の環境整備に取り組む。
※昨年度活動実績：○環境保全活動 28回 388名、
○花壇整備活動 29回 318名、花壇の水やり 22回 69名、
○その他、駐車場の開閉：毎日、トイレの開閉：毎日、トイレ清掃
- ⑤ 【広報活動】 まちづくり通信を年2回発行する。



バードゴルフのみなさんが、テーブルベンチを作成しました



木陰広場と、こども広場におしゃれな木製テーブルベンチができました。

つくってくれたのは、バードゴルフを楽しんでいるみなさんです。

これからの季節は、このテーブルベンチに座って、木陰で涼をとるのも気持ちよさそうですね。

手作りのぬくもりあふれた森のテーブルベンチをご愛用ください。

小田野中央公園のないたちと八王子福祉園～事務局より～

八王子福祉園に隣接する「小田野中央公園」は、八王子市が河川敷の一部を近隣公園として整備し、「芝生公園」の愛称で、福祉園の利用者様や市民の皆様の憩いの場として長年親しまれてきました。しかし、現在の状態になる前は、未整備地区が荒れ放題で、不法投棄の問題など、地域にとっても解決すべき課題の場所となっていました。



平成16年（2004年）、「小田野連合町会」「恩方地区町会・自治会連合会」「恩方地区住民協議会」「八王子福祉園」「八王子市」等で構成される「小田野中央公園をつくる会」が発足し、八王子福祉園が事務局を担当しました。

公園の基本計画づくりの段階から、当園の利用者の皆様も地域の一員として公園づくりに参画し、「車いすで散歩できる公園」「誰でもトイレの設置」「四季の自然が楽しめる公園」「子供たちが楽しく遊べる公園」等の意見が基本計画に盛り込まれました。

平成20年（2008年）3月、公園が完成し、「第1回さくらまつり」が開催されました。公園を計画した4年間の取り組みで、地域のつながりが深まり、桜並木の遊歩道が整備され、車いすやベビーカーも通行でき、子供たちの意見を取り入れた遊具が設置されるなど市民が誇りをもって作った公園となりました。

公園完成後は、公園を拠点とした地域づくりを目的に、市民協働事業「小田野中央公園まちづくりの会」を発足し、八王子市とパートナーシップ協定を結んで、公園での活動（公園整備や「さくらまつり」「秋のワークショップ」等のイベント）を通じたまちづくりを行っています。

八王子福祉園は、今後も「小田野中央公園まちづくり」の実践を通じ、地域の皆様と共に、障害の有無に関わらず、誰もが住みよいまちづくりに向けた取り組みを継続します。

小田野中央公園まちづくりの会 事務局 八王子福祉園 清野

まちづくりの会の仲間にないませんか

昨年末から、40代の子育て世代のお父さん数人がまちづくりの会に加わってくれています。

子供たちのためにも、この公園の環境を維持し、地域のみなさんが楽しんで利用できる公園にしたいと、砂入れや、草刈り、植栽の剪定などの活動をしてきています。

まちづくりの会の皆さんが、どんな気持ちで活動しているのか、活動して感じたことなどを、まとめてみました。

まちづくりの会に入ってよかったこと

- ・ 普段、まちなかで、まちづくりの会関係者とあいさつ、話をする機会が増え地域のつながりを感じられるようになった。
- ・ 地域住民との横のつながりができた。このつながりは、災害時にも大変役にたつと思います。
- ・ 多くの人と、顔見知りになった。良い仲間に出会えた。
- ・ 近くの人に感謝される。
- ・ 少し年上の知り合いが増えた。
- ・ 会員同士の交流の輪が広がった。
- ・ 仕事とは関係ない友人が多くできた。
- ・ 定期的に活動することができ、ボーとすることが少なくなった。



- ・生きがいを感じられる。
 - ・共同作業が楽しい。草刈り、剪定などの作業の後に、達成感がある。
 - ・活動中は特に安全管理に気を配っている。
 - ・公園を使用する喜びを知る。
 - ・多くの人たちの力で、公園が維持されていることを知った。
 - ・皆さんの協力で、いつも公園がきれいになっていることが良かった。
 - ・活動中「ご苦労様」と声をかけられ、とてもうれしく思う。
 - ・公園で楽しそうに遊んでいる人を見ると公園整備活動にかかわることができて良かったと思う。
 - ・多くの公園利用者が楽しんでいるのがうれしい。
 - ・公園が、市民の意見で作られたのが良かった。
 - ・最近、若い人が会員に入ってくれて大変助かる。
 - ・いろいろな年齢の方たちと友達になれて楽しい。
 - ・公園が花できれいになっていくのがとてもうれしいです。
 - ・お花が年々多種になり楽しい。一年中、公園で花が見られるのはとても良い。
 - ・小田野中央公園のすばらしさを感じることができた。
- 毎回公園に来るのが楽しみ。
- ・自然の花で嫌なことを忘れます。
 - ・花壇の作業をすると癒される。
 - ・花の名前や、育て方など色々覚えられ、園芸の知識や技術を家でも活用できて良かった。
 - ・園芸の幅が広がった。自宅のボサボサ庭をきれいにできるようになった。
 - ・園芸という趣味が公園で活動することで社会性を持った。社会に役に立ったと感じている。



作業に関わっていくと、知らず知らずのうちに、愛着がわき、会のメンバーは、公園を自分の庭のように感じてくるようになります。それが、誇りや生きがいを感じられるようになっていきます。

この公園に来て、「気持ちいいな」と感じてくれている方、花壇にご興味のある方、少しでも公園の活動に興味のある方のご参加を心よりお待ちしております。

子育て世代の皆さんの参加も大歓迎です。

【問い合わせ先 榛葉 090-4599-3881】

セブン-イレブン記念財団環境市民活動助成金(緑化植花助成)が交付されました

花壇の整備、維持管理や、従来からの環境整備活動の費用をまかなうため、平成30年度より、セブンイレブン記念財団の環境市民団体助成に応募しています。今年も、4月に緑化植花助成金が交付されました。今後も、基金を有効活用し、きれいで、楽しく、安全な公園をみなさんと共につくっていきたくと考えております。



まちづくりの会は、共助のまち・支え合いのまちづくりを目指しています。

**2020年9月20日(日)に予定していた
第12回秋のワークショップは中止となりました**